

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	露語第一		
英文授業科目名	Elementary Russian I		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三浦 清美		
居室	東1 - 508		

公開E-Mail	授業関連Webページ
miura@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
ロシア語初級文法における基本事項の習得

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
選択ロシア語。

<b>【教科書等】</b>
教科書：米重文樹 『生きたロシア語入門（第2版）』（白水社）
辞書：米重文樹 『パスポート初級露和辞典』（白水社）

【授業内容とその進め方】

よく知られているように、ロシア語はアルファベットが西ヨーロッパの言語と異なります。このために、とっつきにくいというイメージがあるかもしれませんが、この点はあまり心配は要らないと思います。語順が自由な点など、むしろ英語に較べると日本語に近い点も多く、親しみがわくのではないかと思います。何と云っても、新しい言語を学ぶことは、眼前にまったく新しい世界が開けることです！

英語が嫌いだった諸君にも、ロシア語を学ぶことは新鮮な驚きをあたえてくれるで

しょう。外国語とってもあまり構えずぎると、負担になり続かなくなりますから、あ

る一つの言いまわしを別の言い方で言ってやろう！と思うくらいゆきましょう。

第1・2週 文字と発音

第3・4週 文字と発音

第5・6週 文字と発音

第7週 名詞・形容詞の性

第8週 格とは何か

第9週 名詞・形容詞の複数形

電気通信大学 平成19年度シラバス

第10・11週 動詞の第1変化

第12・13週 動詞の第2変化

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：試験の成績80%、平常点（小テストを含む）20%

(b) 最低基準：1．ロシア語のアルファベットがよどみなく読めること。2．格の概念を理解していること。3．動詞変化のシステム（時称）を理解していること

【オフィスアワー：授業相談】

事前にメールなどでアポイントメントを取り、来室すること。

基本的に、火曜日14：30－16：30は確実に在室予定。

【学生へのメッセージ】

積極的に声を出そう。出席重視。

【その他】